



平成25年1月15日(火) 18時~19時

福島県立医科大学
11号館(臨床講義棟)
第二臨床講義室

臨床腫瘍セミナー

「在宅ケアのつながる力」

～訪問看護と暮らしの保健室の実践から～



株式会社ケアーズ 白十字訪問看護ステーション 統括所長
暮らしの保健室 室長

秋山 正子 先生

【講演内容】

東京都新宿区、がん拠点病院が3か所、がん認定病院が1か所という大都会の真ん中で、訪問看護活動を始めて20年、当初は在宅ホスピスケアを主に実践してきたが、当初から、病院と地域をつなぐ医療連携は課題であった。また、がん治療の様相も変わり、外来での治療が主体となり、その間に十分な相談支援になかなか結び付かない患者・家族も多い状で、最終コーナーを回ってから紹介される「在宅」は、最後に繋がる所のように考えられてしまっている。イギリスのマギーズセンターのがん患者・家族のための相談支援に学び、地域の中に、病院と別の環境で、十分な話を聞きながら相談に乗れる体制作りのために、昨年夏より、暮らしの保健室を開設した。これらの実践から見えてきたことを提示しながら生活の場で、がんとともに生き切っていく人々を支える医療連携とは何か？2冊目の本のタイトル「在宅ケアのつながる力」に寄せてお話ししたい。

【講師紹介】

1973年 聖路加看護大学卒業。1992年から新宿区を中心に訪問看護に従事。2001年ケアーズを設立し独立。白十字訪問看護ステーション・白十字ヘルパーステーション統括所長、NPO白十字在宅ボランティアの会理事長、30年後の医療の姿を考える会会長などを務める。2011年7月から「暮らしの保健室」を運営。



著書
「在宅ケアのつながる力」
医学書院

- ◆がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」事業の一環となっております。
- ◆本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。

〈次回開催のお知らせ〉平成25年2月19日(火) 18時~19時 静岡大学 竹之内 裕文 先生

〈問い合わせ先〉 福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター がんプロフェッショナル養成支援室
TEL : 024-547-1806 (内5112) mail : yamadaa@fmu.ac.jp

